

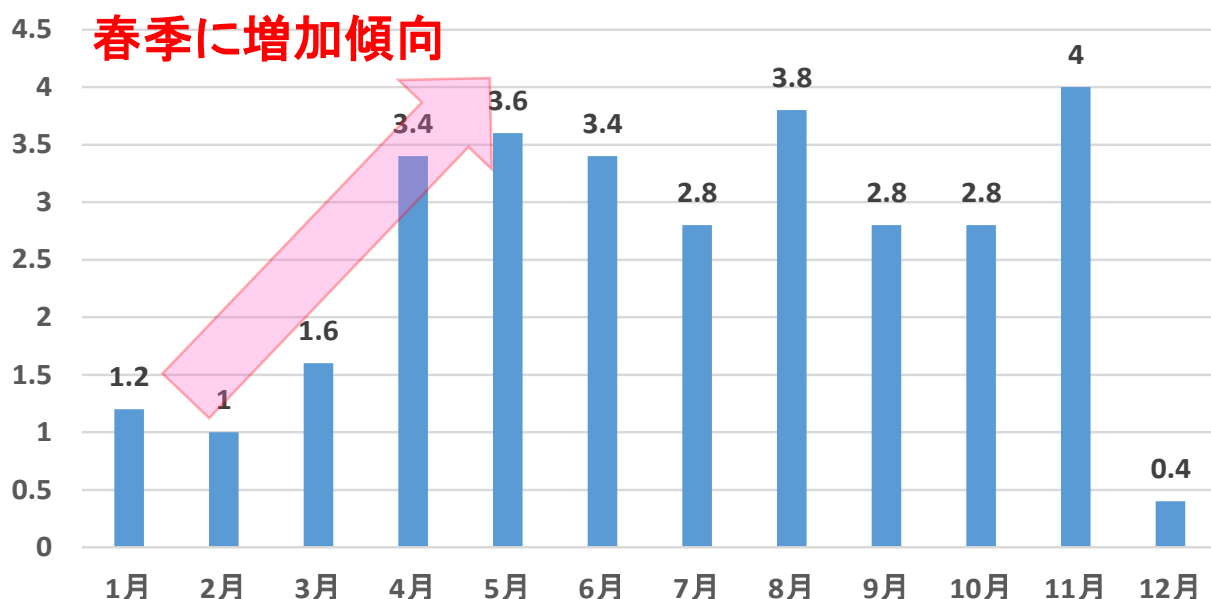
シーズンイン前 機関整備・点検の励行！！

これからの季節、全国的にプレジャーボートの事故が増加する傾向にあります。

東北地方においても、平成25年から平成29年の過去5年平均の事故発生状況を見ると、4月に事故が急増しています。事故種類別では機関故障が最も多く、全体の21%を占めており、また、4月だけで見ても、機関故障が最も多くなっています。

これは、冬場、長期間使用(点検)していない船舶を、シーズンイン時に機関整備が不十分のまま出航させたことが原因となっています。

月別PB事故隻数(過去5年平均)



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609

🔍 マリレよろず

検索

マリレ情報よろず屋URL>>> <http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/yorozuya/index.html>

機関整備のススメ！

整備士による点検

- ボートを買った販売店や整備士がいるマリナーで、出港前に点検をしてもらいましょう。

点検できない場合でも・・・

燃料タンクのチェック

- 燃料タンクが満タンまたは、空で長期間使用していない場合は、結露により水分が含まれる場合があります。
▶ 水分が含まれている可能性がある場合はドレイン抜きから水分を抜きましょう！
- 燃料フィルタの目詰まりはないですか。
▶ ゴミが溜まっている場合は、フィルタの清掃または交換をしましょう！
- 燃料は十分ありますか。▶ 燃料欠乏で動けなくなることを防止します。

バッテリーの電圧チェック

- バッテリーチェッカーなどを使って、バッテリーの状態を確認しましょう。
▶ 電圧の低下を感じた場合は、充電やバッテリーの交換をしましょう。
- エンジンを停止したときは、アクセサリバッテリーに切り替えてGPS等の機器を使用しましょう。
▶ アイドリング状態では、バッテリーにはほとんど充電されないので注意しましょう。



自船の安全確保3か条

小型船舶の船長さんへ

以下の3つの事項を実践して、自船の安全を確保しましょう！

自船の安全確保3か条

- その1 発航前、機関や燃料等の点検の実施
- その2 航行時、常時見張りの徹底
- その3 故障時に備え、救助支援者の確保



⚠ 発航前 … 機関や燃料等の点検の実施

発航前は、船体とエンジン周り、燃料の量、バッテリーの状態を点検するとともに、最新の気象・水路情報等を入手しましょう！



⚠ 航行時 … 常時見張りの徹底

航行時は、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など周囲の水域の状況を継続して把握する必要があることから、常時適切な見張りを実施しましょう！



⚠ 故障時に備え … 救助支援者の確保

事故で最も多いのが機関故障！発航する際は、万が一の機関故障の発生に備え、仲間の船やマリナー等の救助艇による救助体制をあらかじめ確保しておきましょう！また、併せて入航時刻等を家族やマリナー等へ連絡しておきましょう！



※ 水上オートバイは民間救助組織の対象外の場合がありますので注意しましょう。

故障時に備え、救助支援者の確保を！

1 発航前の仲間や家族への連絡



2 定時連絡の実施



3 救助要請



4 救助完了



海での事故は、燃料欠乏などの小さなものと思っても、その後、潮流や風の影響で、転覆したり浅瀬に乗っけるなど、人命や財産に関わる痛ましい事故に発展する可能性があります。

事故を防ぐには、「自分の命は自分で守る」という意識を常に持ち、万が一の時にはすぐに助けを求めることができる方との連絡設定や定時連絡などがとても重要です。

自分は事故に遭わないだろうではなく、自分の命を常に守るように心がけましょう！！

海へ出る前に気象状況等をチェック！

海上保安庁では、「海の安全情報」を提供しています。各地の風向、風速、波高などの海象や海上工事などの情報が入手できます。スマートフォン用サイトでは地図上で自船の位置も確認できます。



パソコンやスマートフォン、携帯電話から簡単にアクセスできます。海の安全情報で検索

自分の命を守るためには、自らの心がけが重要です！



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト
(沿岸域情報提供システム)

